

ダシャーの解釈方法

次にダシャーの解釈方法ですが、マハダシャーを最も大きな傾向として考え、アンタルダシャーをそれよりも絞り込まれた傾向と捉えます。プラティアンタルダシャーはさらにその時、どんなことが起こっているかということ絞り込むのに重要です。通常、この3つのレベルを使いますが、さらにスークシュマダシャー、プラーナダシャーを見れば1日～数日ぐらいの傾向が分かります。

ダシャーの支配星がラグナや月、太陽から何室目を支配し何室目のどんな星座に在住しているか、そして、何室を支配しているどんな惑星からアスペクトされているかを検討することによって、ダシャーの支配星が影響を受けているハウス、惑星、星座が分かります。

従って、チャートの持ち主が経過しているダシャーの支配星を調べ、その惑星に対するハウス、星座、惑星の影響を調べることが分析の中心になります。それによってどのようなカルマがあるかが分かります。

またラグナ、月、太陽から何室目に在住するかという観点（スダルシャンチャクラ）に加えて、その人のダシャーの支配星をラグナとして、チャートを見る＜ダシャーラグナ＞の観点も重要であり、実は、これがラグナや月からの観点と同じかそれ以上に重要です。

人間の人生の変化を表わすのはこの＜ダシャーラグナ＞が様々に変わることによって、チャートの持ち主のラグナが変化することを意味します。

マハダシャーをラグナとして、アンタルダシャーの支配星が何室支配で何室に在住し、どんな惑星と絡んでいるかという観点をさらにもっと下のレベルにも適用することが出来ます。

アンタルダシャーの支配星をラグナとして、プラティアンタルダシャーの支配や在住、他の惑星との絡みなどを調べることが出来ます。

そして、これを更にプラティアンタルダシャーをラグナとして、スークシュマダシャーの支配、在住、絡みなどを調べることも出来るのであり、この工程は無限に繰り返すことが出来ます。

ここまでを整理しますが、ダシャーの分析では以下のような項目を確認します。

- **ダシャーの支配星のラグナ、月、太陽、＜ダシャーロード＞からの PACDARES を検討する**
- **ダシャーの支配星のトランジット、ダシャーの支配星に対するトランジットを検討する**